

令和4年8月7日  
今週のベストショット



青松園B ソルトベ이스ターズ 対 新町ウインズ  
四回表、ソルトベ이스ターズ四番井浦選手のライト柵越えアーチ！  
写真：ブルーマーリンズ 山本 憲明

奈多グラウンド 8点を追うライナーズの逆転劇！

塩浜ジャガーズ (2勝4敗1分) 3 5 0 0 0 0 8 立石●-猪野

雁ノ巣ライナーズ (3勝3敗1分) 0 0 0 0 6 3×9 柴田○-明瀬

HR:宇野(雁の巣) 3BH:吉田(塩浜ジ) 久保田(美)(雁の巣)

2BH:藤井(塩浜ジ) 国崎(雁の巣)

一回表塩浜ジャガーズの攻撃は、先頭の内田選手がレフト前ヒットで出塁すると、二番竹尾選手がランナーを進め、続く立石選手と猪野選手の連続安打で先制。その後六番吉田選手が二塁打を放ち2点を追加し初回到3点を先制した。一回裏雁の巣ライナーズはランナーを出すも得点にはつながらなかった。二回表ジャガーズの攻撃、先頭の藤井選手が二塁打で出塁すると、続く道喜選手がサードへの打球を放つとこれをサードの国崎選手がエラー。無死一三塁となる。その後、内田選手がセンターへ犠牲フライ。その後もエラーと安打でこの回5点を追加した。その後は両チーム得点が取れず、五回表まで0が続く。五回裏、九番から始まるライナーズの攻撃は、太田選手の代打で中野選手が出てくると四球で出塁。その後一死一二塁として、三番久保田(美)選手のレフトへの打球は、エラーも重なり久保田(美)選手も本塁へ返る。続く宇野選手もセンターオーバーの本塁打を放つと、その後も打線が繋がりこの回6点を返した。六回表のジャガーズの攻撃を辛くも凌いだライナーズは、六回表先頭の明瀬選手がエラーで出塁し、一死一塁から久保田(美)選手が三塁打を放ち1点を返す。続く四番宇野選手が申告敬遠で出塁すると、五番正内選手がレフト前ヒットで同点に追い付く。その後申告敬遠で満塁となって、執念の押し出しで雁の巣ライナーズがサヨナラ勝ちを収めた。(記事・写真:三苦ホーネッツ 只松 輝大)



投打で活躍した塩浜ジャガーズ立石投手。



雁の巣ライナーズ先発の柴田投手。



バントをするライナーズ明瀬選手。



3安打の活躍を見せたジャガーズ内田選手。



飛び込むも惜しくも取れなかったライナーズ上村選手。



打球が当たり悶絶の猪野選手を優しく背中をさする朝川球審。

### 青松園B ライトフェンスを超える特大本塁打！

ソルトベ이스ターズ (4勝3敗) 1 5 1 3 1 0 酒井○—大門

新町ウインズ (1勝6敗) 0 0 1 0 1 桐島●—今林

HR : 井浦 (ソルト) 3BH : 酒井 (ソルト) 長岡 (新町ウ) 2BH : 山ノ川、今林 (ソルト)

盗塁 : 中村 (健) 2、吉田 (ソルト)



初回ソルトベ이스ターズの攻撃は、2本のヒットから四番井浦選手のセカンドゴロの間に1点を先制する。対する新町ウインズの攻撃は四球でランナーを出すも後続が倒れ無得点で終わる。二回表、ソルトベ이스ターズは、四球からチャンスを広げ、三番中村選手の2点タイムリーヒットや相手の守備の乱れから一挙5点を追加する。四回表、ソルトベ이스ターズ四番井浦選手にライトフェンス（ネット）を超える目の覚めるような特大の2点本塁打が飛び出し、ダメ出しとなる3点を追加する。ウインズも長岡選手の三塁打や今林選手の二塁打などでチャンスを広げるが打線がつながらず反撃も1点までに終わった。五回表ソルトベ이스ターズは、酒井選手が左中間を破る鋭い打球を放ち三塁をまわり果敢に本塁を狙うも、外野からのすばらしい返球にて激走実らずタッチアウト。そのまま相手捕手と抱き合うほどのとしたシーンもあった。勝ち投手となった酒井投手はコントロールが定まり、リズムのよい投球でウインズ打線につけ入るスキを与えなかった。(記事:ブルーマーリンズ 江頭 秀一、写真:山本 憲明)



ソルトベ이스ターズ試合前。



新町ウインズ試合前。



新町ウインズ桐島投手。



ソルトベ이스ターズ酒井投手。



ソルト中村（健）選手のレフト前2点タイムリー。



新町ウインズ長岡選手の三塁打。





ソルトベイスターズ酒井選手の三塁打。



ソルトベイスターズ酒井選手ホームまでもう少し。



ソルトベイスターズ酒井選手の三塁打。



ソルトベイスターズ酒井選手ホームまでもう少し。



ソルトベイスターズ井浦選手と中村（健）選手。

**青松園A 首位を追う三球会快勝！**

和白新町パイレーツ（2勝4敗）	0 0 0 1 0	1	川原●、岩吉一岩吉、朝野
三苫三球会（5勝1敗1分）	2 2 0 1 X	5	鮎川○一藤澤

2BH：渡邊（三球会） 盗塁：橋口（三球会）



一回表パイレーツの攻撃は、好投手・三球会鮎川投手の前に簡単に三者凡退に終わる。その裏流れをつかみたい三苦三球会は四球やワイルドピッチなどノーヒットで2点を先制する。追いつきたいパイレーツであったが二回、三回となかなかチャンスを作ることができない。一方、三球会は二回裏、七番渡邊選手の二塁打などでチャンスを作ると、三番鮎川選手のタイムリーなどもありさらに2点を追加する。何とか粘りを見せたいパイレーツは四回表二番今村選手が振り逃げで出塁すると、ここまで好リリーフを続けていた五番岩吉選手のタイムリーなどでようやく1点を返すも試合終了。投手交代のタイミングがカギとなったパイレーツにとっては悔しい試合となった。

(記事・写真：奈多サンデース 野々下 利生久)



三苦三球会先発の鮎川投手。



和白新町パイレーツ先発の川原投手。



急遽登板したパイレーツ岩吉投手。



ピンチを救ったパイレーツ白岩二塁手のランニングスロー。



試合を決めるタイムリーを放つ三球会鮎川選手。



代打にて粘りのヒットパイレーツ土谷選手。



パイレーツ打線を1得点に抑えた三球会バッテリー。



好リリーフをみせたパイレーツ岩吉選手、次回の試合に期待...